

霧ヶ峰高原のご紹介

これからの季節、旅行やドライブに出掛けるのが楽しみです。そこで今回は諏訪の霧ヶ峰高原と八島ヶ原湿原をご紹介します。

ビーナスラインのほぼ中央に位置する車山から鷲ヶ峰にかけて、ゆるやかな起伏が続く霧ヶ峰高原。

レンゲツツジやニッコウキスゲなど、季節の高山植物が緑の草原を色とりどりに染め上げます。富士山やアルプス、八ヶ岳連峰が一望でき、一体に上昇気流が発生し、グライダーの飛行に適しているため日本のグライダー発祥の地としても知られています。

国の天然記念物に指定されている八島ヶ原湿原は、植物が枯れても腐らず堆積し、約1万2,000年の時を経て形成された貴重な高層湿原です。

湿原を一周するハイキングコースでは年間を通して400種類ほどの亜高山植物を観察できます。

八島ビジターセンターあざみ館では、八島ヶ原湿原の生い立ちを分かりやすく説明した展示また四季折々の映像などを通して八島ヶ原湿原の最新情報が入手できます。館内ご利用の際は、マスク着用、手指消毒にご協力ください。

コロナ禍の中、感染予防に心がけ心と身体を癒しに霧ヶ峰高原においでください。